

市街地開発事業の現状と経緯

(区画整理事業 人口急増地区)

	事業名	施工者	事業年度	施行面積 (ha)	公共用地率 (%)	宅地面積 (ha)	計画人口 (人)	平成21年4月		学区	
								人口 (人)	対計画人口 (%)	小学校	中学校
1	請西第二	組合	S63~H11	72.2	32.03	49.1	7,200	4,277	59.40	請西	木二・太田
2	請西第三	〃	H3~H19	90.4	29.41	63.8	8,200	811	9.89	請西	木二
3	小浜	〃	S62~H12	77.3	34.80	50.4	7,000	3,005	42.93	畑沢	畑沢・波岡
4	烏田	〃	H7~H17	92.1	31.28	63.3	8,000	2,226	27.83	八幡台	波岡
5	中尾・伊豆島	〃	H3~H18	98.0	35.49	63.2	6,800	2,330	34.26	南清	清川

(人口予測)

1) 現在の木更津市の人口動態では、社会増は次のようになっている。(単位は年、毎月常住人口調査による)

H16: △37人、H17: △1,164人、H18: 838人、H19: 871人、H20: 1,276人(5年間の平均は年357人の増、増加した3年の平均は975人の増)

2) この社会増が児童数に及ぼす影響は、本市の児童数発生係数(5.60%)で計算すると、年に約20~55名となる。

3) 一方、直近で本市の人口予測を行った水道部での将来人口予測、および社会増発生地区の推計は次のとおりである。

年度	推計人口(人)
H21	125,522
H22	125,829
H23	125,598
H24	125,448
H25	125,321
H26	125,262
H27	125,203
H37	122,319

※この推計によれば、平成23年度以降は、市全体では人口減と見込んでいる。

しかし、上記「人口急増地区」のうち請西第三、烏田、中尾の3地区は、社会増が当面続く
と見込んでいる(請西第二、小浜の2地区は自然増のみで、市街化は達成と推計)。

請西第三(請西南)の社会増: 158人(年)

烏田地区(羽鳥野) 〃 : 158人(年)

中尾地区(ほたる野) 〃 : 125人(年)

これら3地区の社会増の合計は、441人となり、これからの児童発生数は25名となる。

しかし、実際の上記3地区の趨勢は約1,500人で、社会増の予測値を超えており、請西第三で500人(児童数で28人)、烏田地区で400人(〃20人)、中尾地区で600人(〃34人)となっている。この差は、社会

増の増加と市内での移動によるもので、この傾向が続くかどうかで、3地区の数値が大きく変化する。(増加人口の3分の2が社会増、3分の1が市内移動)